

Tokyo Topnotch Philharmonic Orchestra

ひとりでも多くの人々に
低料金で良い音楽をと願い
企業助成によるプロオケ誕生!



東京トップナッチフィルハーモニー

Tokyo
Topnotch
Philharmonic
Orchestra

東京トップナッチフィルハーモニー

団員は主に芸大・桐朋学園大卒業生等からなり、卒業後も海外留学等で高度なトレーニングを積み、ソロ活動のできる能力を持った新進気鋭の若き音楽家達と、コンクール入賞歴のある優れた音楽家達より結成されている。レパートリーもバロック・古典はもとより近代・現代曲にも大いに力を入れて、特に日本人の作曲による作品を多数発表する姿勢を持ち、また日本人の演奏活動拡大の場として演奏家との協奏曲も意欲的に行う。なお協奏曲ではソリストの創造性・独創性を余す所なく表現できる我が国初のアンサンブルでもある。

主な活動内容

活動としては年数回の定期公演、海外からの優れた演奏家との協演、バレエ、オペラ団との協演、ファミリーコンサート、スクールコンサート等、幅広い活動を目的とする。

編成としては弦楽12名からなる東京トップナッチソリステン、23名からなる東京トップナッチ室内オーケストラ、40名からなる2管オーケストラ等、幅広いニーズに答えられるよう編成されている。

特色

企業援助による楽員の給料体制をとっているからこそ、初めて、高度なアンサンブルを、低料金で多くの人々に提供することが実現できます。

内藤氏をはじめ、情熱ある若き優秀な音楽家達によるオーケストラ設立を、熱い期待と共に賛同し、これからの巾広い活動に関して、関係各位に御推薦いたします。

山本直純

若い音楽家たちの活動に賛同し、日本の音楽文化の普及、向上を願い、微力ながら応援致します。

 (株)トップナッチ

■音楽監督・常任指揮者 プロフィール

内藤 彰 Akira Naito

名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事し、同大学合唱団・同交響楽団学生。指揮を努めるの桐朋学園大学研究科(指揮専攻)修了。同大学にて、故斎藤秀雄氏、尾高忠明氏、小沢征爾氏、秋山和慶氏、フランコ・フェラーラ氏等に師事する。今までも、二期会、東京シティフィル、新星日響、名古屋フィル、東京フィル、新日フィル、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本合唱協会、九州交響楽団で指揮し、新進指揮者として着実に活動の場をひろげつつある。1980年夏、ハンガリーのサヴァリア交響楽団を指揮し好評を博す。1983年までの3年間山形交響楽団専属指揮者として活躍。1984年プロ合唱団「東京合唱協会」・東京トップナッチフィルハーモニーの音楽監督・常任指揮者をつとめる。

